

# 週報 南相馬ロータリークラブ 第2530地区

2017-18年度 第11・12回／通算 第459・460回

日時：2017年9月20日（水）12：30～

場所：ウエディングパーク原町フローラ

南相馬市原町区高見町 2-30-6

## 戦略計画立案セミナー報告

若林 尚之 会員



会長 小澤 積



幹事 高橋 秀夫



### Program 第459回

開会点鐘／「ロータリーソング「我等の生業」／「四つのテスト」唱和／P  
HF+1 授与／会長の時間／昼食／会員卓話／幹事報告／各委員会  
報告／出席報告／スマイルボックス報告／閉会点鐘

### 会長の時間 「日の丸」と「君が代」

日本のロータリー存続の危機を救った 国旗「日の丸」と「君が代」のお話しされました。「日の丸」「君が代」がロータリーに取り入れたのは、1925年（大正14年）に設立された京都RCでした。時代は、日本は軍の拡大へ傾斜していった。そんな1933年（昭和8年）京都の岡崎公会堂で右翼団体の結成式が行われ、ロータリー排撃が決議された。決議文を持って京都クラブの例会場に押しかけてきた。右翼の来襲に、対応したのが京都クラブ第9代会長で、右翼の言い分に対して、「我々は角界を代表する者たちで、国のために国民のために働いている。決して国益を害するようなことはしていない」というと、右翼は、

「それなら証を見せろ」と言った。これに対して、石川会長は躊躇することなく、例会場に「日の丸」を掲げし「君が代」を斉唱するとの回答をしました。京都ロータリークラブの会長はじめ会員一同は死の恐怖に体を張って克服し、右翼を納得させロータリークラブの存続に成功しました。命がけでロータリークラブの存続を守った先輩達に敬意と尊敬の念を持って「日章旗を掲げ」「君が代」を月初めに歌うのは、このような理由からと言われております。





8月5日(土)郡山市労働福祉会館にて開催。当クラブから会長と委員長若林、2名で参加。ロータリー

がこれからもダイナミックな組織でありつづけ、世界中の地域社会に貢献していくための将来の指針となるのがロータリーの戦略計画です。ロータリーの戦略計画は、3つの戦略的優先項目を掲げ、その下に16の目標を定めています。これをベースにセミナーが進みました。福島中央RCの戦略計画立案についての例を学ぶことができました。クラブの現状調査、クラブは何を目指し

ているのか、どの様にビジョンを実現できるか、目標に向けての進歩はどうかを踏まえ、会員満足度アンケート、クラブ活力テストなどを行っていました。セミナーを終えて、当クラブとして、団結することとどのような奉仕ができるか、公共とイメージアップの向上ができるかを考えさせられました。当クラブでおこなっている毎月第三日曜日の清掃活動で、ロータリーのマークが入ったジャンパーを着て活動することは、ロータリーの認知度をあげるためにも大事なことだと思いました。小さなことからでも自分なりに始めようと思います。クラブの認知度の向上をはかっていけたらと思います。

### 幹事報告

- ガバナーエレクト事務所から「事務所開設のご案内」が届いています。
- 原町中央RCから「10月のプログラムのご案内」が届いています。
- 第5回の理事会の報告がありました。

### 9月24日(日) 奉仕活動

### 南相馬市原町区内にて

9月24日(日)原町駅前でごみ拾いを行いました。ご苦労様でした。

参加者は、青木、青田、荒明、小澤、佐久間会員の5名。

次回は10月22日(日)を予定していますので、参加の協力を宜しくお願いします。



### Lunchtime 1分間スピーチ

### 荒明 健 会員



電通の死亡事故によって、残業の問題がクローズアップされています。今朝もあさいち という番組で年間の未払い残業が億単位で判明したという報道がありました。これから、サービス残業は厳しくなります。勘違いされている状況などもありますので、その場合は、ハローワークや社会保険事務所などに確認していただきたいと思います。

## PHF 授与

PHF+1 を  
川崎博祐会員が  
授与されました。



## 今週のランチ



**資源ごみ回収報告** 計¥14,822. 累計¥30,322. 第1・3回例会にてゴミを回収します。

**ロータリー財団** 計¥14,000. 累計¥130,000. **米山奨学会** 計¥12,000. 累計¥100,000.

**スマイルBOX報** 計¥15,000. 累計¥198,090.

青木謙二	1,000	若林会員卓話ありがとう。
青田 真	1,000	佐久間会員リサイクル回収ありがとうございます。
大谷和年	1,000	あと4日で65才介護被保険者の仲間入りです。
岡田義則	1,000	会長の時間、いつも勉強になります。
小澤 積	1,000	若林さん報告ご苦労様です。
川崎博祐	2,000	若林会員卓話ありがとうございます。
酒井善盛	1,000	若林会員卓話ありがとう！！
佐久間岩男	1,000	
高橋秀夫	1,000	若林会員卓話ありがとうございます。
野地庄蔵	1,000	
宮城住夫	1,000	
星 遵一	1,000	
門馬純子	1,000	「戦略計画立案セミナー報告」ありがとうございました。
若林尚之	1,000	
渡部亜季	1,000	

出席報告：会員数31名 出席数17名 出席率55%



## トレッキング・芋煮会のお知らせ



日 時：10月29日（日） ～みんなで自然を感じましょう。トレッキングの後は  
場 所：霊山 美味しいお昼が待ってます♪～  
参加費：3000円 学生 500円



ロータリー:  
変化をもたらす

## 9 月度・夜間例会 (通算 第 4 6 0 回)

日時: 2017 年 9 月 27 日 (水) 18:30~

場所: CreateBar SHELTER

### 会長の時間 「開会・閉会点鐘」



ロータリーの会合は、すべて点鐘に始まり、点鐘で終わる。なぜ点鐘か？日本のロータリーでは「点鐘に始まり、点鐘で終わる」とされています。なぜ点鐘なのか？いろいろな説があるようですが、日本のロータリーでは、点鐘無くして「始まりも、終わり」もありません。ただし、世界共通ではないそうです。日本同様に、台湾、韓国では、点鐘は鳴らされているようです。点鐘のない国では”Call To Order” (コール トゥ

ー オーダー)「お静かに願います」の発言があって例会が始まるようです。ロータリーがなぜ点鐘が始まったのか？15 世紀から 17 世紀前半にかけての大航海時代に、船乗りは、4 時間ごとの交代勤務で、30 分ごとに点鐘し時間を知らせました。その慣習に従っている説があります。大航海時代の習慣に由来しているとしたら、時間を告げるのが目的だったので、例会の始まりと、終わりに鳴らすのではなく、特に時給の高いロータリアンにとって例会は貴重な時間。それをだらだらと終わりのないような例会であってはならないものするためとも言われております。

### 幹事報告

- 10 月のロータリーレートは、112 円です。
- 東京杉並 RC から小高小・中学校図書寄贈式典の新聞記事・写真の御礼をいただきました。

出席報告 : 会員数31名 出席数11名 出席率35%

9 月 26 日 2700 地区へ義援金 ¥100,000 を送金しました。ご協力ありがとうございました。



南相馬ロータリークラブ Since.2007

会長: 小澤 積 / 幹事: 高橋 秀夫

例会日: 毎水曜日 12:30~13:30

例会場: フローラ原町 南相馬市原町区高見町 2 丁目 30-6 TEL 0244-24-2888

事務局: 南相馬市原町区錦町 2 丁目 68-6 TEL 0244-23-1268 FAX 0244-26-5935

HP <http://www.minamisoma-rc.org/> E-mail [minamisomarc@white.plala.or.jp](mailto:minamisomarc@white.plala.or.jp)

